
日本放送協会 理事会議事録

(平成31年 3月 5日開催分)

平成31年 3月22日(金)公表

<会議日時>

平成31年 3月 5日(火) 午前10時00分～10時15分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、児野専務理事・技師長、
松原理事、荒木理事、黄木理事、菅理事、中田理事、鈴木理事、
松坂理事、今井特別主幹
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 報告事項

- (1) 考査報告
- (2) 放送番組審議会議事録(資料)

議事経過

1 報告事項

- (1) 考査報告
(考査室)

2019年1月7日から2月26日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース30項目、番組92本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、千葉県野田市で小学4年生の女兒が死亡し、両親が傷害容疑で逮捕された事件で、一時保護していた女兒を守れなかった児童相談所の対応などに批判が出ていること、統計不正問題で、野党側は官邸主導で統計の調査方法が変更されたと主張し、政府は首相の指示や前首相秘書官の関与を否定していること、沖縄の米軍普天間基地の移設先の辺野古沖埋め立てへの賛否を問う県民投票で、反対が有権者の4分の1を超えたこと、はしかの感染が全国に拡大し、厚生労働省や医療機関がワクチンの接種などを呼びかけていることなどがありました。

番組では、平成14年にノーベル化学賞を受賞した会社員の田中耕一さんの受賞後の歩みを通して、技術開発の国際競争力が1位から25位に転落した平成の日本の苦悩を見つめた「NHKスペシャル 平成史スクープドキュメント第5回 “ノーベル賞会社員”～科学技術立国の苦闘～」（総合テレビ・2月17日放送）、15人が死亡した軽井沢ツアーバス事故から3年が経ち、国が罰則を強化してもなお、事故の教訓が活かされていない現状に迫った「クローズアップ現代+ 不正横行！？ツアーバスの“闇”～追跡取材 軽井沢バス事故3年～」（総合テレビ・1月15日放送）、米軍普天間基地の移設先の辺野古地区にNHKディレクターが実際に暮らし住民の本音に迫った「目撃！にっぽん 辺野古に住んで見えたこと“移設先の町”4か月の記録」（総合テレビ・1月27日放送）、山あいの町で大量発生したゾンビに立ち向かう3人のアラサー女子が人生を見つめ直す「よるドラ ズンビが来たから人生見つめ直した件」（全8回）の第1回（総合テレビ・1月19日放送）などを考査しました。

地域番組では、積極的な障害者雇用により人手不足の解消や仕事の効率改善や業績アップを実現させた企業の事例を紹介した「ナビゲーション みんな幸せ！働き方改革時代の障がい者雇用」（総合テレビ・東海・北陸ブロック※静岡・福井県域除く・2月1日放送）、県内の中学教員の2人に1人が月80時間以上の時間外労働を行っている事が明らかになった高知県の教員の過酷な実態を密着取材で明らかにした「とさ金 どう見直す 教師の長時間労働」（総合テレビ・高知県域・2月1日放

送)などの番組を考査しました。

また、国際放送「NHKワールド JAPAN」では、ニュース7項目と番組3本の考査を実施しました。

イスラム革命から40年を迎えたイランの現状を特集した「NEWS ROOM TOKYO」(日本時間2月12・13日放送)ほかのテヘラン発報道、海外のリスナーの日本に関する質問に答える「ラジオ日本」の多言語番組を映像化してネット配信も行った「WHAT'S YOUR CONNECTION? - Japanese trend of mourning」(日本時間1月27日放送)などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

(荒木理事) 普天間基地の移設先の辺野古地区の埋め立てに関する沖縄の住民投票については、NHKでは出口調査や情勢取材に基づく自主的な編集判断により、速報スーパーを出しています。これからもこうした方針を堅持し、正確で迅速な報道を実施していきます。

(2) 放送番組審議会議事録(資料)

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会(関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国)の2019年1月開催分の議事録についての報告。

注:放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成31年 3月20日

会 長 上 田 良 一